



おかげさまで・・・ 徳之島虹の会 15周年!!

2026

2011年に設立した当会も、早いもので15周年を迎えました。ここまで活動を続けてこられたのも、ひとえに応援して下さるみなさまのおかげです。今回の会報誌は、増量特別版でお届けいたします。次の15年も張り切ってまいりますので、引き続きご支援よろしくお願いたします!

徳之島虹の会だより



不定期発行
第33号
2026年1月

理事長
政 武文



徳之島には、神様が羽の生えた馬(天馬)に乗ってやって来るといった、西洋のペガサス伝説に似た伝承の地があります。今年、跳ね駆ける一年にしましょう。

徳之島虹の会は昨年「社会貢献者表彰」を受賞しました。これは、ひとえに会員・賛助会員の皆様の支えと、地道に取り組んできた活動が評価されたものと考えております。今年も多岐にわたる活動に精力的に取り組んでまいります。引き続き応援よろしくお願いたします。



第64回

社会貢献者表彰に

選ばれました!

二〇二四年十月、インドネシア交流やNCA受入れ事業などでお世話になっている「社あいいいネット」の長畑先生から、突然こんな連絡が入りました。
「社会貢献支援財団に、虹の会の表彰を推薦したら、一次審査を通過しました!」

調べてみると、安倍元首相の奥様である安倍昭恵さんが会長を務める財団で、人々や社会のために尽力する団体や個人を表彰するというものでした。非常に恐れ多いながらも大変ありがたいと同時に、当会にもサプライズで推薦していただいた長畑先生には感謝の気持ちしかありません。年が明け、二〇二五年となり、年度末業務に追われていた三月のある日。社会貢献財団の事務局から「二次審査のために伺います。」と連絡が入り、その後東京からはるばる徳之島まで視察に来られ、その場で表彰の内定をいただいたのでした。



島の子どもたちとの外来種駆除体験「シロアゴガエル・バスターズ」の活動を特に評価してくださっていたため、安倍会長の来島に合わせてバスターズを再集結・・・のはずが、なんと台風の影響で、飛行機が欠航に。その後も多忙なかたで再度日程を調整くださり、11月14日、ついに安倍会長が来島されました。

この日は糸木名小学校の子どもたちと予定していた自然観察会に同行され当部林道へ。アマミノクロウサギのフンやケナガネズミが食べた松ぼっくりなど、動物たちの痕跡を観察したり、変わった形の植物やシイの実を見つけて大はしゃぎの子どもたち。安倍会長は大変気さくなお人柄で、子どもたちとの交流を楽しんでくださいました。

自然観察会の後は、当会のこれまでの取り組みや課題、徳之島の現状などについて意見を交わしました。

特に環境教育活動には熱心に耳を傾けてくださり、当会の活動を非常に高く評価くださるとともに、貴重なアドバイスなども頂戴して非常に有意義な時間となりました。和やかな交流会はそのまま夕食会へ。島の恵みをふんだんに盛り込んだお手製料理を囲み、安倍会長と虹の会メンバーの心の距離も縮まりました。

そして12月、東京・帝国ホテルへ!理事長が見違えるほどカッコイイ男に変身!今回選ばれた30組の団体と並んで、虹の会も表彰を受けました。その後の懇親会では他の団体とも交流し、「社会のため」という同じ志を持つみなさんとこれまでの苦労を称えあい、励ましあいました。たくさんの人に支えられ、応援いただいで迎えた15周年。会員数三〇名弱で始まった虹の会も、現在は一八二名の大所帯となり、節目の年に相応しい誉をいただきました。とはいえ、まだまだ課題は山積みで、やるべきこともたくさん。百年先、千年先の徳之島を見据える虹の会にとって15年はまだまだ序盤です。引き続き応援よろしくお願いたします!



◀ 1 視察に来島された安倍昭恵さん。糸木名小学校の自然観察会に同行されました。2 夜は虹の事務所、事務局長のお手製ごはん。心の距離も縮まりました。3 東京・帝国ホテルでの表彰式。4 同席のNPOトラストサールン釧路の皆さんと。

徳之島虹の会と 島の子どもたち 青少年健全 育成活動の 15年

二〇一一年に発足した徳之島虹の会。外来種や不法投棄ごみの対策、自然保護、トイレなどの環境保全活動、ガイド育成を含むエコツアー推進活動など、これまで多岐にわたる活動に取り組んできました。その中でも、発足当初から力を入れて取り組んできたのが「青少年健全育成活動」です。親子で参加できるイベントを開催したり、島中の保育園や幼稚園・小中学校で自然体験や出前授業など、子どもたちに徳之島の自然・文化の素晴らしさを知ってもらうための活動を続けてきました。

徳之島の教育機関は高等学校までで、高校を卒業すると、ほぼすべての子どもたちが進学・就職のために島を出ていきます。未来の社会・未来の徳之島を背負っていく子どもたちですが、島を巣立つまでに島のことをより多く知ってもらわなければ、島の魅力に気付くのは、もっと先の事になるかもしれません。でも、島のことを何も知らない状態では、あとで気付くこともできないのです。

明けましておめでとうございます。今年は、奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島の世界自然遺産登録から5年目になります。この世界自然遺産は4つの島からできていますが、4つの島がその生物を見るとさまざまな違いがあるということが面白いと思ひ、徳之島にもお邪魔しています。最初の2、3年はコロナのパンデミックでさまざまな活動が止まっていましたが、そろそろ各島で変化が起こってきている時期だと思います。登録時には「これはゴールでなくてスタートだ」とみんなで張り切りましたが、やはり少し気が緩んできている部分もあるように思います。5年の節目にもう一度気を引き締めて世界自然遺産の島だと自信を持って自慢できるように頑張りましょう。

虹の会の皆さんの、島の自然・文化・歴史に対する思いの深さと、外に開かれた活動に、強く惹かれて、もう10年近くお世話になっています。インドネシア・西パリで、身近な自然と自分たちの暮らしを大切にしながらエコツーリズムに取り組む仲間たちとともに、これからもお互いに刺激しあい、学びあえる関係を続けていきたいです。次の15年に向けて、一緒にがんばりましょう！

岡田 伸一 林野庁 徳之島森林事務所 首席森林官

皆様、新年あけましておめでとうございます。今年はまだ「お祝いの年」と聞いております。「徳之島虹の会」設立十五周年、そして世界遺産の登録五周年、本当におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。「虹の会」というお名前の通り、皆様の活動は、地域の歴史と未来をつなぐ「架け橋」であり、この島を美しく彩ってこられました。今年にはさらに活動の輪が広がり、地域に大きな虹がかかるような、素晴らしい一年になることを楽しみにしております。私も、皆様の活動を精一杯応援させていただきます。最後になりますが、本年が皆様にとって笑顔あふれる幸多き一年となりますようお祈り申し上げます。

徳之島虹の会15周年 世界自然遺産登録 5周年に寄せて

応援団、役員、会員を代表する皆様から、メッセージをご寄稿いただきました。



元田 浩三 虹の会 社員 (年男代表)

あけましておめでとうございます。今年は午年で「エネルギーギッシュで前向きな行動が成功を呼ぶ年」と言われております。私も今年年男になりました。まだ若いと思っていましたが体が正直でありまして体中が悲鳴を上げ、寄る年波を感じる今日この頃です。私が代表を務める金見あまちゃんクラブも今年創立8周年を迎えます。島の自然保護に熱い想いを寄せる虹の会の仲間たちの刺激を受けながら、寄る年波に抗いたいと思う年の初めです。

池村 茂 虹の会 理事

皆様、新年明けましておめでとうございます。虹の会発足から15年、そして、徳之島が世界自然遺産に登録されてから5年の節目を迎えました。一昨年は温暖化の影響によるサンゴの大白化に見舞われましたが、昨年からは少しずつサンゴの回復が見られ、本年も引き続き、恵まれた自然への保護活動と海洋における生きものの観察会、ウミガメ保護等の体験型環境教育をより充実させて、さらなる躍進ができればと望むところです。新しい1年の、皆様のご健勝とますますのご発展を心よりお祈りしています。

下西 恵 虹の会 賛助会員第1号

新年おめでとうございます。今年はNPO法人発足や世界遺産登録の節目の年とのこと、また昨年の地域貢献表彰改めてお祝い申し上げます。皆様の情熱と行動力には常々敬服しています。虹の会の方々のおかげで徳之島の自然の豊かさや独自性などを知り肌で感じられたことは貴重な宝物です。島を離れてお手伝い出来なままですが、これからもこの素晴らしい自然が残され、島の命、自然も人も、全てがつながり未来に続いていくことを願っています。

美延 優志 虹の会 賛助会員(中之島在住)

徳之島が世界自然遺産になって5年、徳之島虹の会が発足から15年の節目の年となりました。午年は飛躍の年とされ、近いところでも歴史を振り返れば、日中平和友好条約の調印や東西ドイツ統一など、大きな時代の転換期である年だともいえます。昨年は日本中で熊騒動や米騒動と騒々しい一年となりましたが新年は、丙の暴れ馬に跨るが如く確かな手綱さばきで、変化の激しい今の時代を、しなやかに駆け抜けていきたいですね。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

子どもたちを対象にして実施した最初のイベントは、「夏休み自由研究 岩石採集編」と「植物採集編」。設立直後の二〇一一年七月に開催しました。岩石採集は三日間、植物採集は二日間にわたる一大イベントで、それぞれ成尾英仁先生(現鹿児島大学非常勤講師・当時は武岡台高校教諭)と山下弘先生(「奄美の絶滅危惧植物」著者、二〇二二年没)を講師にお招きしました。



上…成尾先生と島中をめぐって岩石採集。下…採集後はまとめ方までしっかり指導します。

夏休みの自由研究サポートは、現在までずっと続けている活動です。昨年は九州ろうきんNPO助成事業を活用して「徳之島ジュニアレンジャー」を発足。単発的ではなく、もっと継続的に学ぶ機会を提供したいと、ヤドカリ観察会や夜の生き物観察会など、様々な企画を実施し、観察後は、自由研究としてしっかり



赤いライトでヤドカリ観察。後日まとめ学習。

りまとめてもらいました。こうした、学外で自然と触れ合う機会を提供する活動のほかに、学校で行う出前授業も、継続して実施してきました。特に世界自然遺産の登録以降は、環境学習のニーズが急増し、各種助成金を活用するなど、自主事業を続けてきました。二〇二二年度からは、伊仙町の小学校で環境教育活動が始まり、初年度は町内3つの学校、翌年は5校に増え、昨年度からは町内すべての学校で出前授業を実施しています。

伊仙町の小中学校と一口に言っても、立地環境や生徒数、学習のめあてなども学校ごとに違うため、先生方との綿密な打ち合わせや、講師とのスケジュール調整のちに学校に合わせたプランを組んでいます。



面海中、浜で外来種観察

例えば、「鳥っ子ガイド」の活動が盛んな阿権小学校では、認定エコツアーガイドが鳥っ子ガイドのブラッシュアップをしたり、面縄小学校では、校区内の海岸でウミガメの生態についての座学や浜での痕跡調査を行い、海外の小学校とオンラインでその成果発表を行ったりしています。

出前授業を実施しているのは、もちろん伊仙町内だけではなく、調査研究などで来島する専門家に相談し、スケジュールの許す限り、島中の学校で出前授業の機会をご提供頂いております(先生方、いつもありがとうございます)。



徳高生とは毎年林道散策を実施。



童謡小では、昔のおもちゃを作り、遊びました。

直近では、クワガタの専門家である荒谷教授(九州大学)が、岡前小学校と母間小学校で甲虫の不思議についてご講演くださいました。15年間続けてきた青少年健全育成活動。当時小学生だった子どもが高校を卒業して島を出て、社会人になる年月です。この15年間で、何百人、もしかしたら何千人もの子どもたちと関わってきました。どんな活動もそうですが、もちろん楽しいことばかりではありません。でも、虹の会の活動に参加したことがきっかけで自然や文化に興味を持ち、進学先や就職先を決めたというような嬉しい話を聞くこともあり、そんなことがあるたびに、この活動への意欲を新たにしてみました。教育事業はすぐに結果が出るものではありません。15年続けても、どんな結果になっているのか、本当のところはわかりません。それでも虹の会が青少年健全育成を活動の中心に据えているのは、徳之島の素晴らしい自然・文化をずっと未来まで維持していくために、このことが最も大切だと信じているからです。

2011年4月13日
徳之島虹の会
設立!

徳之島虹の会 15年のあゆみ



設立から15年間、国立公園になったり、自然遺産になったり・・・、見聞き2ページでは収まり切れないほどたくさんのお出来事がありました。技粋して振り返ってみましょう。

総会員数27名 2011

4月17日
金見海岸清掃会

初の虹の会主催の清掃会。約10名で清掃を行いました。

5月12日
希少植物盗掘犯逮捕協力で
警察署長から感謝状

約2000株もの盗掘事件をきっかけに、徳之島三町「希少野生動物植物の保護に関する条例」が制定されました。

12月25日
緊急講演会「アマミノクロウサギとトクノシマトゲネズミの今とこれから」

ウサギ博士・山田文雄先生と初めて出合い、計画・準備・本番まで3日間で開催した講演会。会場は満席となりました。

1月21日
義名山の森自然観察会

講師・寺田仁志先生（鹿児島県埋蔵文化センター所長）

4月14日
犬田布岳登山道清掃会

大久保町長をはじめとする伊仙町役場のみなさんの他、約50名の参加者が集まりました。

環境省野生生物調査
定点カメラ保守・点検業務開始
（～2014年）

徳之島の自然フォトコンテスト
「生物多様性写真コンテスト」開催

10月27日～11月30日
写真展「いのちつながる徳之島
生物多様性を見る」開催

フォトコンテストには島内在住の22名から200点を越える写真が寄せられ、徳之島三町を巡回した写真展には、合計で2000名を超える来場者がありました。

1月20日～3月2日
第一回環境省ノネコ捕獲調査

1月26日
「鹿児島島の生物多様性を語る
自然環境保全活動発表会」
かごしま県民交流センター／事例発表で登壇。

3月17日
井之川岳登山道清掃大作戦

三町役場や県、島内の多くの事業所から約90名の参加者が集い、井之川岳山頂に長年蓄積されたゴミを担ぎ下ろしました。

3月24・25日
集落出前講座「奄美・徳之島は
なぜ世界自然遺産候補地になっただのか」
亀津・亀徳／講師・宮本旬子先生（鹿児島大学）

5月1日
講演会「世界で徳之島だけに住む動物達」トクノシマトゲネズミ進化の不思議」
ユイの館／講師・城ヶ原貴通先生（岡山理科大学）

総会員数61名 2012

5月12日～14日
出前授業「水と森・みんなでモリスアイエンス」共生生物としてのシロアリ」
伊仙中学校他、4会場にて出前授業

11月2日～16日
写真展「いのちつながる徳之島」三東京

環境パートナーシッププラザ（池袋・環境大学）／前年に島内三町で開催された写真展が、東京・鹿児島へ巡回しました。会場には連日多くの方が訪れ、東京会場では3000人を超える来場者をお迎えしました。来場者アンケートでは、「徳之島へ行きたい」と思いましたか」の項目で、「ぜひ行きたい・行ってみたい」の回答が100%となりました。

虹の会の初書籍・徳之島の自然図鑑『いのちつながる徳之島』刊行

好評
発売中
定価
1,980円
(税込)

2月2日
鹿浦川清掃大作戦

奄美群島広域事務組合との共催／地域住民のみなさんをはじめ、三町役場のみなさんなど、1000名を超える参加者が集まりました。

2月28日
鹿児島県大島支庁長
あまみ地域づくり褒章
受賞



4月23日
自然環境功労者環境大臣表彰 受賞

7月13日
面縄海岸清掃大作戦

幼稚園生から80歳まで、島内中から1200名を超える参加者が集まりました。

11月8日
徳之島の美しく豊かな自然を
未来につなぐシンポジウム
アマミノクロウサギがあぶない！
みんな考えてよう徳之島の今と未来

於 ほーらい館／30もの共催・後援団体のご協力を得て、2か月に渡る実行委員会の準備の末に開催されました。4000人も参加者が集い、大成功を収めました。

徳之島の美しく豊かな自然を未来につなぐシンポジウム
アマミノクロウサギがあぶない!!
～ みんなで考えてよう徳之島の今と未来 ～
2014年
11月8日(土)
18:00
19:30
伊仙町民会館
入場無料

SAVE TOKUNOSHIMA
奄美・琉球の自然 その暮らしと文化、未来へつなぐための
シンポジウム

12月26日
「奄美・琉球世界自然遺産」
候補地として暫定リスト記載
決定

総会員数61名 2015

1月10～11日
講演会「意外と知らないネコのはなし」
於 天城町役場他4か所
講師・伊藤圭子獣医師

2月6日
鹿児島県共生・協働型地域コミュニティづくり推進優良団体 優秀賞
受賞

2月14日
山クビリ線ボランティア清掃大作戦

島中から100名もの参加者が集まりました。2トトラック2台分のゴミを回収したほか、要注意外来植物の伐採（軽トラック1台分）、クロウサギの糞調査（六一五〇個！）を実施しました。

環境省ノネコ対策事業
本格スタート（～2014年）

この前年、環境省によってノネコのフン採取および調査が行われ、1頭のノネコの3日分のフンから、トゲネズミが4頭、アマミノクロウサギが1頭見つかるという結果が。この年から約10年で何百頭ものネコを林道で捕獲しましたが、ノネコによる希少野生生物への被害はまだまだなくなりそうにありません。

9月6日
世界自然遺産勉強会

於 ほーらい館
講師 星野一昭先生（元環境省局長）

11月21～23日
第21回野生生物と社会学会

於 琉球大学
テーマセッション（発表者 池村茂・美延睦美）「徳之島の特異的な自然誌と生き物文化誌」世界自然遺産登録後における自然資源活用の可能性」

7月30日
植物の方言名&利用方法調べ

於 三京公民館・三京林道
講師 宮本旬子先生（鹿児島大学）、田畑満大先生

9月4日
アマミノクロウサギ交通事故防止看板設置

島内の小中学校から標語を募集して、手作り看板を制作しました。

9月22～28日
徳之島の生物多様性写真展

於 三井製糖本社ビル（東京・日本橋）

10月16日
ICMアルグレン博士と虹の会との
意見交換会

2月19日
ボランティア清掃大作戦&
自然遺産交流会

春季合宿に訪れた明治大学ローパスカウト部さんの提案で、当時の徳之島高校3年生と虹の会が賛同して実施。高校生が実行委員会を設立し、明治大学生・徳高生のほか、全島から三五〇名を超える参加者が集まりました。

3月7日
「奄美群島国立公園」誕生

総会員数53名 2013

総会員数29名 2012

総会員数74名 2017

総会員数60名 2016

4月22日
奄美群島国立公園指定記念イベント「未来へつなぐいのちのバトン」
於 徳之島文化会館



6月12日
金見海岸ボランティア清掃会
全島各地から一〇〇名を超える参加者が集まり、軽トララック 10台分のゴミを回収しました。

8月20日
全島一斉ボランティア清掃会
世界自然遺産登録に向けたIUCN現地調査を目前に控え、三町各地で六五〇名を超える島民が清掃に参加しました。



2月8日
IICA国際交流研修受入れ開始
5月13日
金見海岸清掃会

6月9日
出前授業「世界自然遺産勉強会」
於 糸木名小学校
講師 講師・城ヶ原貴通先生

12月19日
外来種駆除ボランティア
徳之島建設業協会主催で実施。建設業協会一〇〇名を含む、総勢一七〇名が参加し大規模な作業が実施されました。2tダンブ52台分・総量 13tもの外来種を駆除しました。

4月20日
インドネシア国立公園視察団
意見交換会&エコツアー

7月28日
次世代育成事業「夏休み！タキシヤ探検」
講師 鈴木廣志先生（鹿児島大学）

9月27日
徳之島ボランティア大清掃会
徳之島三町・徳之島建設業協会・観光連盟・虹の会の主催により、全島規模の清掃会を実施。19もの団体から約三〇〇名の参加者が集まりました。

12月7日
世界自然遺産シンポジウム「徳之島」親子で考える世界自然遺産
(運営協力)

3月3日
あましん地域貢献賞 受賞

3月6日
剥岳植物調査・清掃
4月17日
井之川岳空き瓶回収
5月31日
金見海岸清掃会
6月
鹿児島県「ハブとの共存に関わる総合調査事業」スタート(至現在)

コロナ禍で様々なイベントが中止に.....野外活動に精が出ました。

島の宝「自然と文化を伝えるカムイヤキの森」エコツアー
ズム推進事業
環境省補助事業採択 事業費八三〇万円

総会員数109名 2022

7月23日
伊仙小学校家庭教育学級
剥岳林道散策
1月9日
カムイヤキの森エコツアー



前年度に取り組んでいたカムイヤキの森整備事業の集大成として、島民の皆様を対象にエコツアーを実施。予想をはるかに上回る数のお申込みをいただき、80名もの参加者が集まりました。コロナ感染防止対策も万全を期して、楽しんでいただくことができました。

3月20日
金見海岸清掃会

島中から三三〇名もの参加者が集まり、午前中2時間余りの作業で、4tダンブ4台+2tダンブ1台分のブイと、軽トララック26台分の漂着ゴミを回収することが出来ました。

7月26日
奄美・沖縄世界自然遺産登録決定！

7月27日
虹の会 10周年&自然遺産登録記念エコツアー

会員限定企画として、遺産エリアである剥岳林道で、登録後初めてのエコツアーを実施！オキナワウラジロガシの森で万歳三唱しました。



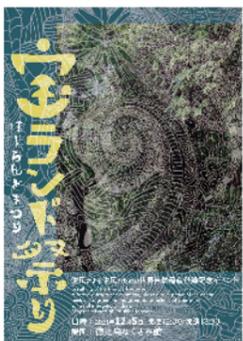
12月10日
自然遺産登録記念イベント「宝ランド祭り」

遺産登録を記念して実施された「住民による住民のためのイベント」。子どもたちを中心とした有志島民による創作ダンスが披露され、コロナ禍にも拘わらず、約一五〇〇名もの観客が会場であるくさみ館を埋め尽くしました。



2月22日
金見海岸清掃会

島中から一〇〇名もの参加者が集まり、ゴミ袋六〇〇袋分のペットボトルと、4tダンブ4台分の漁具を回収しました。



6月24日
小原海崖清掃会

断崖絶壁で行った、虹の会史上もっとも過酷な清掃会。約八〇名が参加し、崖下の漂着ゴミを船で運び出しました。

7月30日
自然遺産登録一周年講演会
「世界自然遺産のいろは」
講師 星野一昭先生 (IUCN理事)

7月31日
自然遺産登録一周年イベント
「世界自然遺産の森と遊ぶ」
於 三京分校・三京林道

総会員数137名 2023

10月18日
北海道の高校生、修学旅行受入れ

1月12日
出前授業「トコトン語ろう！アマミノクロウサギ」
大田布小学校他5校+3集落
講師 山田文雄先生 (ウサギ博士)

1月12日
観察会「オオコウモリを探せ！」
講師 伊澤雅子先生 (北九州市立自然史・歴史博物館館長)

2月26日
金見海岸清掃会

4月
伊仙町環境教育事業開始 (至現在)

初年度は町内3校で実施。各校と打合せをして、それぞれに合わせたプログラムを組んでいます。

4月16日
伊仙町町政 60周年記念表彰 受賞

5月8日
特定外来生物シロアゴガエル、島内初確認 (悪夢の始まり...)

7月26日
インドネシア・バリ島視察

11月12日
クロウサギの里コンサート
於 当部・あがりまた広場

2月18日
金見海岸清掃会

過去最多の三〇〇名が参加し、2tトラック 15台分のゴミを回収しました。

2月24日
IICA国際交流事業研修生受入れ

2月18日
鹿児島県立博物館主催講演会
「暮らしのそばに世界自然遺産 徳之島」

5月9日
九電みらい財団助成金活用「シロアゴガエル・バスターズ」島の生物多様性を守る
島の子どもたちに参加を呼びかけ、5か月間にわたって野外での外来種駆除活動を実施しました。この活動が、翌年の社会貢献者表彰に繋がっています。

1月7日
「いのちつながる写真展」
於 徳之島文化会館

1月26日
文化会館 30周年×遺産登録 3周年
「森と海の生き物たちと遊ぼう！」
於 徳之島文化会館

2月28日
音楽ユニット木音ひなひな
「ヨロキ洞穴コンサート」

4月11日
わかばこども園 出前授業
講師 平城達哉先生 (奄美市博物館)

5月20日
伊仙中学校 宿泊学習

7月
徳之島ジュニアレンジャー活動スタート

つづきは直近の活動報告へ。今年も忙しい一年になりそうです。この次の15年も、引き続きよろしくお願ひいたします！

総会員数164名 2024

総会員数182名 2025

活動報告 (2025.7~2025.12)

- 7月23日 島内賛助会員交流会 (ほーらい館)
- 7月31日 社会貢献支援財団より受賞決定通知が届く
- 8月3日 中伊仙西・東集落『夜の学校生き物観察会』
- 8月12日 中伊仙西・東集落『三京林道ナイトハイク』
- 8月16日 夏休み自由研究支援 (～8月18日)
- 8月26日 大学生インターン受入開始 (～9月6日)
- 9月1日 役員2名、インドネシア出張 (～9月11日)
- 9月4日 面縄小環境教育授業 (ウミガメ調査)
- 9月9日 阿権小環境教育授業 (島っこガイド指導)
- 9月12日 鹿浦小環境教育授業 (海の生き物)
- 9月14日 中伊仙西・東集落対象『島料理教室』
- 9月17日 喜念小環境教育授業 (昔のおもちゃづくり)
- 9月19日 鹿浦小環境教育授業 (海の生き物観察)
- 9月20日 鹿大名誉教授鈴木廣志先生『海の観察会』
- 9月24日 阿権小環境教育授業
徳之島町立図書館 本贈呈式
- 9月29日 伊澤先生 (琉大名誉教授) 喜念小出前授業
- 10月3日 荒谷先生 (九州大学) 井之川中出前授業
- 10月4日 ドングリ豊凶調査 (～10月5日)
マルダイコクコガネ調査 (～10月5日)
- 10月11日 シロアゴガエルCB調査 (町事業) (～10月12日)
- 10月14日 面縄中環境教育授業 (外来種駆除モクマオウ)
- 11月1日 中伊仙西・東集落『ハロウィンお面づくり』
- 11月4日 京大大学院生講演会@樟南二高、徳高
- 11月7日 糸木名小環境教育授業 (リースづくり)
- 11月14日 安倍昭恵さん来島！
糸木名小環境教育授業 (林道観察会)
- 11月22日 外来ネコ問題研究会 WEB会議
- 11月24日 三京林道外来種駆除 (ムラサキカッコウアザミ)
- 11月26日 犬田布小環境教育事業 (昔のおもちゃづくり)
- 11月28日 消防・警察・ガイド協合同救助訓練 (犬田布岳)
- 11月29日 関東賛助会員交流会@東京都港区神田
- 11月30日 マルダイコクコガネ調査 (～12月1日)
- 12月1日 社会貢献支援財団 表彰式@東京帝国ホテル
- 12月5日 伊仙小環境教育授業 (1年生「秋をさがそう」)
- 12月8日 伊仙小環境教育授業 (3年生 義名山の森散策)
- 12月9日 徳高環境教育授業 (外来種駆除モクマオウ)
- 12月10日 徳高環境教育授業 (剥岳林道散策)

今後の活動予定

- 1月17日 九州ろうきんNPO助成フォーラム
- 1月27日 鹿児島大学 ワークショップ
- 2月3日 面縄小インドネシアオンライン交流
- 2月8日 金見海岸清掃会

その他実施している活動

エコツアー・ナイトツアーの実施
伊仙町シロアゴガエルモニタリング調査業務
伊仙町希少種保護パトロール業務
国有林スポットセンサス (鳥の声調査) など



▲左：7月23日、島内賛助会員の集い。同じ島内にもなかなか顔を合わせないメンバーが集い、島料理と島唄で盛り上がりました。▲右：8月12日、中伊仙集落ジュニアレンジャーで三京林道ナイトハイク。普段行かない夜の森に、子どもたちも大はしゃぎでした。



▲左：9月1日から、役員2名がインドネシア・西バリ出張へ。現地のエコツアー体験や小学校訪問、意見交換など盛りだくさんでした。▲右：11月1日、中伊仙ジュニアレンジャーでハロウィン。美術家・のせたかこさんを講師に、島の植物を使ってお面を作り、老人ホームを訪問しました。



▲左：11月4日、調査研究で長年徳之島に通っている京大大学院生の亀崎さんが、島内2つの高校をまわって講演してくれました。▲右：11月28日、消防・警察・ガイド協会が合同で、徳之島初の山岳救助訓練が実施されました。遭難事故が起きないように！



▲左：11月29日、関東賛助会員交流会。理事長と事務局長が社会貢献支援財団の表彰式で上京したタイミングで、東京で初めて開催しました。▲右：12月8日、伊仙小出前授業で義名山の森へ。近所とはいえ見慣れない森の景色に大興奮！答えきれないほど質問してくれました。

徳之島で世界を救う

金見海岸清掃会 2026年 2月8日(日) 9:00 - 12:00

詳細は追ってお知らせします。
今年もみなさまのご参加をお待ちしています！



賛助会員募集中！

個人会員
年会費：5,000円/1世帯
法人会員
年会費：20,000円/1団体

当会の活動にご理解ご賛同いただける方のご紹介と、ご寄付 (1口3000円～) のご協力をお願いいたします。

2025年12月現在、個人会員162名・法人会員9団体

詳しくは公式サイトをご覧ください



NPO法人
徳之島虹の会

TEL/FAX 0997-86-3575
MAIL shimaniji@gmail.com
HP https://shimaniji.com